

## VI 令和4年度「文化芸術による子供育成総合事業 出演希望調書(実演芸術)」

分野、種目(該当する分野、種目を選択してください。)

分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽
----	------	----	--------

申請区分(申請する区分を選択してください。)

申請区分	A区分のみ
------	-------

複数申請の有無(該当する方を選択してください。)

複数申請の有無	無
---------	---

複数の企画が採択された場合の実施体制(該当するものを選択してください。)

※複数申請の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません。(グレーアウトされます。)

複数の企画が採択された場合の実施体制	
--------------------	--

その他を選択した場合	
------------	--

## 芸術文化団体の概要

ふりがな 制作団体名	いっばんしゃだんほうじん こんごうかい 一般社団法人 金剛会		
代表者職・氏名	代表理事 金剛永謹		
制作団体所在地	〒 602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上る龍前町590番地 (京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅,6番出口より徒歩5分)		
電話番号	075-441-7222	FAX番号	075-451-1008
ふりがな 公演団体名	いっばんしゃだんほうじん こんごうかい 一般社団法人 金剛会		
代表者職・氏名	代表理事 金剛永謹		
公演団体所在地	〒 602-0912 京都市上京区烏丸通中立売上る龍前町590番地 金剛能楽堂内 (京都市営地下鉄烏丸線「今出川」駅,6番出口より徒歩5分)		
制作団体 設立年月	令和2年4月		
制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
	別添1のとおり	※別ファイル「⑤_金剛会」(定款)参照	
事務体制の担当	専任	本事業担当者名	田中敏文、豊嶋祐三子
経理処理等の 監査担当の有無	有	経理責任者名	吉田和正(税理士)、和田次夫

<p><b>制作団体沿革</b></p>	<p>金剛流は能楽シテ方五流のひとつで、古くは奈良の法隆寺に奉仕した猿楽座の坂戸座を源流とし、室町初期には春日興福寺に勤仕する大和猿楽四座のひとつとなり、のちに金剛座、そして現在の金剛流へと至りました。現在では、能楽五流のうち四流の宗家が東京を本拠地に行っている中で、関西・京都に宗家が在住する唯一の流儀です。芸風は、豪快でめざましい動きの中にも、華麗・優美さがあり、「舞金剛(まいこんごう)」といわれます。また、豊臣秀吉から拝領した「雪の小面」や、金剛孫次郎自作の本面「面影」など、所蔵する能面・能装束に名品が多く、「面金剛(おもてこんごう)」とも言われています。昭和56年に、先代家元である二世金剛巖(25世宗家)、流儀能楽師、愛好家によって創設された任意団体である「金剛会」は、流儀の伝承、普及、後継者養成に長年にわたって寄与して参りましたが、令和2年4月には一般社団法人となり、旧金剛会の目的と活動を継承することとなりました。以後、令和2年度には文化庁「文化芸術収益力強化事業」に参画し、また、令和3年度には文化庁「文化芸術による子供育成総合事業〈巡回公演事業〉」に採択されるなど、さらなる発展に向け積極的に取り組んでいます。</p>		
<p><b>学校等における公演実績</b></p>	<p>文化庁、公益社団法人京都市芸術文化協会、公益社団法人能楽協会等の主催事業へ参画し、主に幼児や小・中学生を対象とした能楽鑑賞教室等を実施して参りました。</p> <p>詳細は別添2をご参照ください。</p>		
<p><b>特別支援学校における公演実績</b></p>	<p>平成27年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 第1クール(6月25日)の青森県立若葉養護学校にて公演</p>		
<p><b>参考資料の有無</b></p>	<p>A</p>	<p>申請する演目のチラシパンフレット等</p> <p>申請する演目のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p>有</p> <p>有</p> <p><a href="https://kongou-assoc.com/page5.html">https://kongou-assoc.com/page5.html</a></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>
	<p>Aの提出が困難な場合</p>	<p>今回申請する演目に近い演目で公演の様子がわかる内容のDVDまたはWEB公開資料</p> <p>※公開資料有の場合URL</p> <p>※閲覧に権限が必要な場合のIDおよびパスワード</p>	<p><input type="text"/></p> <p><input type="text"/></p> <p>ID: <input type="text"/></p> <p>PW: <input type="text"/></p>

## 公演・ワークショップの内容

【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】

対象	<input type="radio"/>	小学生(低学年)	<input type="radio"/>	中学生
	<input type="radio"/>	小学生(中学年)		
	<input type="radio"/>	小学生(高学年)		
企画名	みんなで体験・共演してみよう「能・狂言」			
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	<p>本公演演目/狂言「柿山伏」、能「鞍馬天狗」 進行/ ①「能楽」のお話(5分)(能のお稽古は必ず挨拶から始まります) ②狂言「柿山伏」の上演(15分) ③狂言「柿山伏」について(5分) ④能「鞍馬天狗」参加しよう!～稽古・リハーサル～(10分) ＜休憩＞(10分) ⑤能「鞍馬天狗」の鑑賞にあたって(5分) ⑥能「鞍馬天狗」の上演(40分)字幕付き ⑦能楽師との交流の時間～感想と質問～(10分) ⑧終わりの挨拶(能の稽古は必ず挨拶で終わります) ※マイク1本、スクリーンをご用意ください。 ※稚児役の子供・生徒は白足袋または白ソックスをご用意ください。 ※ご担当の先生と綿密に打ち合わせを行い、適切な上演方法を模索します。 公演時間(90分)、休憩時間(10分) 詳細は別添3をご参照ください。</p>			
著作権	<input type="radio"/>	制作団体が所有	制作団体以外が所有する事項が含まれる	(制作団体以外が所有する事項が含まれる場合)許諾状況
演目概要	<p>▼狂言「柿山伏」/典拠:「宇治拾遺物語」の「実ならぬ柿の木」に説話がみられる。 ＜あらすじ＞山伏が修行を終えて故郷に帰る途中、喉が渇いてしまい、ふと見上げると見事な柿があることに気づく。木の下から落とそうと試みるが、なかなか上手くいかなかったため、木に登って柿を食べてしまう。ところが、誤って口にしてしまった渋柿を投げ捨てたところ、見廻りに来ていた持ち主に当たり、無断で柿を食べていたことに気づかれてしまう。柿の木に登っているのは犬だ、猿だ、鳥だ、鳶だと言われる度に、それらの動物の鳴き真似でその場を凌ぐものの、最後に鳶は飛ぶものだ、と言われ、飛んではみるものの、大怪我をして悪事が露呈してしまう。自分の罪を覆い隠そうとする山伏の滑稽な姿を、面白おかしく描いている。</p> <p>▼能「鞍馬天狗」/作者:宮増某(一説に世阿弥とも)/典拠:源義経の幼少期を題材とした能。「平治物語」の牛若丸の條、幸若の「未来記」などの伝説から取材したものと考えられる。 ＜あらすじ＞鞍馬山西谷の花見の招待を受けた東谷の僧は、稚児たちを連れて西谷へ行き、花見の宴を開く。そこへ一人の見知らぬ山伏が侵入して来たので、僧たちは座を立てて帰ってしまう。沙那王(牛若丸)は、一人居残って山伏に対し好意を示す。山伏は沙那王を連れて花の名所を見せて廻った後、実はこの鞍馬山に住む大天狗であることを明かし、明日の再会を約して僧正ヶ谷へ飛び去る。翌日沙那王は、約束の場所に来て待っていると、大天狗が葎下の天狗を従えて現れ、沙那王に兵法の奥義を伝え、平家を滅ぼす時に力を添えることを約束して、夕影の暗くなった鞍馬山の杉の梢に飛び去って行く。 舞台写真は別添4をご参照ください。</p>			
演目選択理由	<p>ユネスコ無形文化遺産にも登録されている『能楽』は、「能」と「狂言」の両方を指します。 「能」と「狂言」は、古来よりセットで上演されてきました。シリアスな能の合間にコミカルな狂言を楽しむ趣向は、現在行われている多くの有料公演にも引き継がれています。本巡回公演でも、このような本格的な形式に則り上演します。 各演目の選択理由については別添5をご参照ください。</p>			
児童・生徒の共演、参加又は体験の形態	<p>能「鞍馬天狗」を共演・体験します。事前ワークショップでは、児童・生徒全員が、稚児役、地謡役の「舞」や「謡」の一部を能楽師による指導で習得します。公演当日は、稚児役として一部の児童・生徒が舞台に立ち、全員が鑑賞位置から地謡役として参加します。子供たちは、稽古を重ね、実際の舞台へ出演することで、能の手法や面白みを、より鮮明に感じることが出来ます。 ※稚児役の子供・生徒は、制服・平服に、白足袋または白ソックスの服装で演じます。</p>			
出演者	<p>金剛流若宗家・金剛龍謹(こんごうたつりの)をはじめ、金剛流職分家一門の能楽師を中心に、能楽界において第一線で活躍中のシテ方、ワキ方、狂言方、囃子方が出演します。 なお、出演予定者については別添6を参照ください。 ※仮番組と主な出演者のプロフィールについては、別ファイル「②_一社金剛会」(出演予定メンバー表)を参照</p>			
公演出演予定者数 (1公演あたり)	<p>出演者: 21 名 スタッフ: 6 名 合 計: 27 名</p>		機材等 運搬方法	<p>積載量: 2 t 車 長: 6.5 m 台 数: 1 台</p>

【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】

実施に当たっての 会場条件	実施条件等確認書①をご確認ください。					
会場設営の所要時間 (タイムスケジュール)の 目安	前日仕込み	無	会場設営の所要時間		2	時間程度
	到着	仕込み	本公演	内休憩	撤去	退出
	8時30分	8時30分～ 11時30分	13時30～ 15時15分	10分	15時20分～ 17時20分	17時20分
	※本公演時間の目安は、午後1時乃至1時30分からの概ね2時限分程度です。					
児童・生徒の 参加可能人数	ワークショップ		最大1,000人(全校生徒)			
	本公演		最大1,000人(全校生徒)			
ワークショップ 実施形態及び内容	<p>みんなで体験・共演してみよう「能・狂言」 所要時間(90分)、途中休憩10分含む</p> <p>①始まりの挨拶(5分) ②能・狂言とは?(10分)</p> <p>③絵本読み聞かせ「鞍馬天狗」(10分) ④謡(うたい)を全員で体験してみよう(20分)</p> <p>⑤能面をつけてみよう(5分) ⑥能・狂言の舞や所作を全員で体験してみよう(15分)</p> <p>⑦能「鞍馬天狗」を演じてみよう(20分) ⑧質疑応答(5分)</p> <p>⑨終わりの挨拶</p> <p>詳細は別添8、10、11をご参照ください。</p>					
ワークショップ 実施形態の意図	<p>『能楽』は、「能」と「狂言」からなる古典芸能です。2つの対照的な芸能を、本公演やワークショップを通じ、一度の機会に学ぶことにより、より深い理解を得られると考えます。</p> <p>稽古を通して、「構え」「歩み」「舞」「謡」といった能・狂言の基本型を学びます。そして、自分たちが稽古をした内容が実際の舞台ではどのように演じられるのか、本公演を鑑賞することで、より理解を深めることができます。</p> <p>能楽師が常より行っている、「稽古を重ね舞台へ上がる」ことを体験し、より身近に伝統芸能の世界に共感出来得る、一連のプログラム構成となっています。</p>					
特別支援学校での 実施における工夫点	各支援学校における様々な形態を確認した上で、伝統芸能の本質・特質を子供たちにより深く理解し経験していただくべく、担当の先生と綿密に協議し、子供たちと伝統芸能との最善の接点を模索して参ります。					
実施可能時期	実施可能時期スケジュール表をご確認ください。					

リンク先	No.1	【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】
制作団体組織・役職員	<ul style="list-style-type: none"><li>●代表理事 金剛永謹(金剛流26世宗家)</li><li>●理事 種田道一(金剛流職分家)・弘田幸稔(金剛流職分家)・金剛龍謹</li><li>●監事 吉村彰彦</li><li>●本巡回公演事業担当グループの構成</li><li>事業企画グループマネージャー:弘田幸稔</li><li>事業企画グループリーダー:豊嶋晃嗣(金剛流職分家)</li><li>企画制作担当:山田伊純、向井弘記</li><li>事務担当:田中敏文、豊嶋祐三子</li><li>経理担当:吉田和正(税理士)、和田次夫</li></ul>	

リンク先	No.1	【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】
学校等における公演実績	平成27年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 3クール計12校、追加公演3校にて能「絵馬」の上演	
	平成28年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 2クール計8校、追加公演5校にて能「絵馬」の上演	
	令和28年度 「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」 新町小学校(京都府) (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 能楽講座)	
	平成29年度 「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演 (※京都能楽囃子方同明会採択の金剛流「絵馬」に参画) 4クール計8校にて能「絵馬」の上演	
	平成30年度 「ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業」 (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 金剛流「船弁慶」)	
	平成30年度 「京都府次世代文化継承・発展事業」 (舞鶴市立白糸中学校 公益社団法人能楽協会委託事業)	
	令和元年度 「ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業」 (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 金剛流「船弁慶」)	
	令和元年度 「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」 竹田小学校(京都府)、納所小学校(京都府) (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 能楽講座)	
	令和元年度 「夏休み芸術体験教室・発表会」 小中学生が体験教室で能楽の仕舞を学び、本物の能舞台上で発表 (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 能楽講座)	
	令和元年度 「能楽体験 教員セミナー ～能楽に触れてみよう～」 小中学校教員を対象とした能楽鑑賞および体験 (※文化庁、公益社団法人能楽協会 委託事業)	
	令和2年度 「ようこそ和の空間 伝統公演とくべつ授業」 (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 金剛流「船弁慶」)	
	令和2年度 「ようこそアーティスト 文化芸術とくべつ授業」 聖光幼稚園(京都府) (※公益社団法人京都市芸術文化協会 委託事業 能楽講座)	
	令和3年度 文化庁「文化芸術による子供の育成事業」巡回公演を受託 3クール計9校にて能「鞍馬天狗」をテーマにした実施を予定	

リンク先	No.2	【公演団体名	一般社団法人 金剛会	】
<p>本公演演目</p> <p>原作/作曲</p> <p>脚本</p> <p>演出/振付</p>	<p>①「能楽」のお話(5分) ア、始まりの挨拶(能のお稽古は必ず挨拶から始まります) イ、能・狂言のお話(歴史、なりたち、能舞台の説明、舞台での役割分担)</p> <p>② 狂言「柿山伏」の上演(15分)</p> <p>③ 狂言「柿山伏」について(5分) 鑑賞した狂言「柿山伏」の特徴的な所作などを解説し、全員で体験します。</p> <p>④ 能「鞍馬天狗」参加しよう！～稽古・リハーサル～(10分) ワークショップで習得した稚児役と地謡役の最終稽古とリハーサルを行います。 稚児役/舞台での立ち位置、動線などの確認 地謡役/全員で謡う、小謡「花咲かば」の確認</p> <p>&lt;休憩&gt;(10分)</p> <p>⑤ 能「鞍馬天狗」の鑑賞にあたって(5分)</p> <p>⑥ 能「鞍馬天狗」の上演(40分)字幕付き</p> <p>⑦ 能楽師との交流の時間～感想と質問～(10分) 能・狂言を体験・鑑賞した子供たちが感想を発表しあいます。 また能楽師も、感想を伝え、質問に答えます。</p> <p>⑧ 終わりの挨拶(能の稽古は必ず挨拶で終わります)</p> <p>※マイク1本、スクリーンをご用意ください。 ※稚児役の子供・生徒は白足袋または白ソックスをご用意ください。 ※ご担当の先生と綿密に打ち合わせを行い、適切な上演方法を模索します。</p> <p style="text-align: right;">公演時間( 90分)、休憩時間( 10分)</p>			

リンク先

No.2

【公演団体名

一般社団法人 金剛会

】

演目概要



▲能「鞍馬天狗」稚児役の様子



▲能「鞍馬天狗」前場

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】
演目選択理由	<p>▼狂言「柿山伏」について            狂言の代表作で、小学校の教科書にも採用されている演目です。            見た目の面白さだけでなく、子供たちにも十分に理解出来るストーリーの可笑しさもあり、バランスの取れた秀作です。擬音や動物の鳴き声の場面は、子供たちが思わず真似をしたくなり、いつまでも記憶に残ります。            狂言は、中世の庶民の日常をコミカルに生き生きと描いています。また、ほとんどが面をつけずに行われセリフにより演じられます。能と狂言を同時に鑑賞することで、その違いをより実感できます。</p> <p>▼能「鞍馬天狗」について            「鞍馬天狗」は、稀代の英雄で、子供たちにも馴染みのある源義経(幼名:牛若)が活躍します。義経が登場する能は数多く残っていますが、鞍馬天狗では、今回、鑑賞する子供たちと同じ年頃の義経が描かれており、親近感を持って物語を楽しむことができます。            物語は、義経が鞍馬寺へ預けられ、学問に精を出す一方、夜な夜な寺を抜け出して武芸の稽古に励み、その相手役を務めたのが、鞍馬山の天狗たちといわれていることに由来しています。この天狗たちが生涯義経を助けることとなります。            義経と天狗たちとの出会いは、みんなから敬遠された1人の山伏を優しく受け入れた義経の行動がもたらしたものです。子供たちには、異なった文化を持ち、異なった身なりをしている人でも歓迎し、受け入れ、一緒に時間を仲良く過ごし、お互いの理解を深め信頼関係を構築することが重要であることを物語から読み取ってもらい、情緒溢れる健全な心身づくりの一助となればと考えます。            前場は、山伏と牛若との愛情が主眼とされ、甚だ人情味豊かな場面が展開され、後場では、大天狗が、牛若に兵法の奥義を伝授する場面が描かれています。曲中を通して緩急変化に富んでおり、華やかに、そして強々と展開し、ひときわ明朗闊達な秀作となっており、子供たちにも最後まで集中力を持って鑑賞してもらえる内容です。            実際、プロとして活躍する能楽師の幼少期には、本曲の「稚児役」で初舞台を踏むといったケースは殊に多くみられ、プロの入り口を垣間見られる曲となっています。本巡回公演事業を通し、たくさんの児童・生徒たちにもこれを経験していただくことで、古典芸能へのより深い理解や親しみが得られると考えます。</p>	
		
	▲能「鞍馬天狗」後場	▲狂言「柿山伏」

リンク先	No.2	【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】
出演者	<p>予定する出演者は次のとおり。(◎は国定重要無形文化財総合指定保持者、日本能楽会会員)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●シテ方(開催日により下記より、計12名) 金剛龍謹、◎種田道一、◎廣田幸稔、◎豊嶋幸洋、◎今井克紀、◎豊嶋晃嗣 宇高竜成、宇高德成、田中敏文、谷口雅彦、和田次夫、重本昌也、山田伊純 惣明貞助、向井弘記、湯川稜、中村洋臣</li> <li>●ワキ方(開催日により下記より1名) ◎江崎欽次朗、福王知登、◎原大、有松遼一、岡充</li> <li>●狂言方(開催日により下記より、計3名) 大蔵流狂言方・茂山家一門</li> <li>●囃子方(開催日により下記より、計4名) (笛方)◎杉市和、◎森田保美、◎左鴻泰弘、杉信太郎、斉藤敦 (小鼓方)◎林吉兵衛、◎吉坂一郎、◎曾和鼓堂、林大和、林大輝 (大鼓方)◎河村大、◎石井保彦、◎谷口正壽、◎井林久登、渡部論 (太鼓方)◎前川光長、◎井上敬介、◎中田弘美、◎前川光範</li> <li>●金剛会事務局スタッフ(開催日により下記より1名) 本事業に関する企画制作・監修・コーディネートに携わり、出演者補助・調整・連絡・進行を遂行する者(能楽の専門知識を有する) 豊嶋祐三子 (中学校教諭二種免許状(音楽)/文化庁「国内専門家フェローシップ制度」2015年度研修者) 田中敏文 (金剛流師範/法政大学能楽研究所客員研究員/ 京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター研究員)</li> <li>●舞台・運搬スタッフ OFFICE-ONE (代表:奥野豊)</li> </ul>	

リンク先	No.3	【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】
実施に当たっての会場 条件・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体育館の広さによりステージを演者待機所として使用する場合があります。</li> <li>・常設の電源以外に使用する電源は特に必要ありませんが、開催時期により扇風機や暖房器具等を使用する場合があります。</li> <li>・常設の暗幕があれば使用させていただく場合もあります。</li> <li>・常設の緞帳があれば使用させていただく場合もあります。</li> <li>・搬出入時に開催場所の最も近い搬入口まで横付けできれば幸いです。</li> <li>・ピアノは舞台設置に支障がある際には移動をお願いする場合があります。</li> <li>・マイク、スクリーンのご準備をお願いします。</li> <li>・開催時期により扇風機・暖房器具のご用意をお願いする場合があります。</li> <li>・搬出入時にお手伝いをお願いすることがあります。</li> </ul>	
	<p data-bbox="454 577 726 609">&lt;仮設舞台施工イメージ例&gt;</p> <div data-bbox="568 660 1264 1048">  </div> <div data-bbox="561 1128 1268 1516">  </div>	

リンク先	No.3	【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】
ワークショップ実施形態 及び内容	<p>能楽全般や本公演で鑑賞する能「鞍馬天狗」と狂言「柿山伏」について、実演を交え、プロジェクターの映像や動画を見ながらわかりやすく解説します。また、本舞台で使用する面(おもて)を実際に見て体験します。「能楽」をわかりやすく纏めたテキスト冊子(別添10、別添11含む)を、児童・生徒全員にお渡しします。</p> <p>児童・生徒たちが、能「鞍馬天狗」の本番へ参加するための指導を下記のとおり行います。ワークショップ実施後から本公演までの期間も、学校やご家庭で稽古を続けられるように、お手本のテキスト動画を金剛会ホームページに掲載いたします。DVDでのお渡しも可能です。</p> <p>▼事前ワークショップ  <b>みんなで体験・共演してみよう「能・狂言」 所要時間(90分)、途中休憩10分含む</b>  ○基本的に能楽師4名で伺います(シテ方3名・狂言方1名・スタッフ1名)  (児童・生徒数が750名を超えた場合はシテ方1名を増員します。)  ○マイク1本、スクリーン、長机2個をご用意ください。</p> <p>①<b>始まりの挨拶(5分)</b>  能楽のお稽古は必ず挨拶から始まります。挨拶することの意味や大切さのお話。</p> <p>②<b>「能」・「狂言」とは？(10分)</b>  ・実際の能の動画を観てみよう(プロジェクター使用)  ・能舞台・演者構成等についてのお話(プロジェクター使用)  ・歴史やなりたち、演者の役割など、能・狂言の基礎的なお話。</p> <p>③<b>絵本読み聞かせ「鞍馬天狗」(10分)</b>  能「鞍馬天狗」ってどんなお話？  子供たちの理解を深めるため、「絵本で読む鞍馬天狗」をプロジェクターで映し出し、能楽師が読み聞かせます。別添10のとおり</p> <p>④<b>謡(うたい)を全員で体験してみよう(20分)</b>  鞍馬天狗の小謡「花咲かば」を中心に、「詞章」・「節」・「発声」などの説明を含め、能楽師が丁寧に実演指導します。児童・生徒の理解や興味を促すため、「オリジナル謡本」を使用します。  (プロジェクター使用)  別添11のとおり</p> <p>⑤<b>能面をつけてみよう(5分)</b>  児童・生徒代表者は「能面」をかけ、視野の狭さ、平衡感覚、声の聞こえ具合などを体験します。  ※能面体験コーナーを設置いたします。休憩時間等を利用し、児童・生徒に直に体験していただけます。</p> <p><b>&lt;休憩&gt;(10分)</b></p> <p>⑥<b>「能」・「狂言」の舞(まい)や所作を全員で体験してみよう(15分)</b>  能楽師による仕舞や狂言の実演を行い、能の基本動作の「構える」・「歩む(摺り足)」や狂言の基本所作などについて詳しく説明し、子どもたちがこれらを体験します。また能と狂言の表現方法(喜・怒・哀・楽)の違いなども、実演を交え詳しく解説します。</p> <p>⑦<b>能「鞍馬天狗」を演じてみよう(20分)</b>  ・稚児役と地謡役に分かれ、能「鞍馬天狗」の花見の場面を実演してみます。  ・プロジェクターで実際の能の様子を観た後、場面の説明や実演方法など、わかりやすく丁寧に指導します。</p> <p>⑧<b>質疑応答(5分)</b></p> <p>⑨<b>終わりの挨拶</b></p>	<p>▼公演当日のワークショップ</p> <p>○<b>狂言「柿山伏」について(5分)</b>  鑑賞した狂言「柿山伏」の特徴的な所作などを解説し、全員で体験します。</p> <p>○<b>能「鞍馬天狗」参加しよう！～稽古・リハーサル～(10分)</b>  ワークショップで習得した稚児役と地謡役の最終稽古とリハーサルを行います。  稚児役/舞台での立ち位置、動線などの確認  地謡役/全員で謡う、小謡「花咲かば」の確認</p>

リンク先

No.3

【公演団体名

一般社団法人 金剛会

】

■③絵本読み聞かせ「鞍馬天狗」で使用する「絵本で読む鞍馬天狗」の例(冒頭部分)

# 絵本で読む鞍馬天狗

絵:さくら 文章:金剛龍謹  
制作:一般社団法人 金剛会



※山伏は山々を回って心と体をきたえているお坊さんで、立派な鞍馬寺のお坊さんは、山伏のことが大きらいなのです。

ワークショップ実施形態  
及び内容



※彼は天狗なので飛んで、または雲に乗って移動することができます。各地の花の名所、愛宕、高尾、比良、横川(比叡山)、吉野、初瀬など、一日では行けない遠くまで見て回ることができました。

リンク先 No.3

【公演団体名 一般社団法人 金剛会 】

■④謡を全員で体験してみようで使用する「オリジナル謡本」の例(鞍馬天狗の謡の一部)

のうがく こんごうりゅう くらまてんぐ こうたい じうたい  
能楽・金剛流「鞍馬天狗」の小謡(地謡)

拍子合

シヲリ \_\_\_\_\_  
上のウキ \_\_\_\_\_ エん \_\_\_\_\_ エん \_\_\_\_\_  
上 はなさかばーつけ いいし やまざとーのー。つけ いいし やまざとの。  
ウカシ \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_ と \_\_\_\_\_  
中 \_\_\_\_\_  
下 \_\_\_\_\_

シヲリ \_\_\_\_\_ んまー \_\_\_\_\_  
上のウキ \_\_\_\_\_ イ \_\_\_\_\_ あ。くらま \_\_\_\_\_  
上 つかいはきたり あにくら \_\_\_\_\_  
ウカシ \_\_\_\_\_  
中 \_\_\_\_\_ の やまの うずさくうらアーー。  
下 \_\_\_\_\_

シヲリ \_\_\_\_\_ くもー \_\_\_\_\_  
上のウキ \_\_\_\_\_ おりー \_\_\_\_\_ オリ \_\_\_\_\_ オ \_\_\_\_\_ イ さ \_\_\_\_\_  
上 たお しお お お まよわじ \_\_\_\_\_  
ウカシ \_\_\_\_\_ い。 \_\_\_\_\_  
中 \_\_\_\_\_ をしるべにて。 \_\_\_\_\_ きつづくー \_\_\_\_\_  
下 \_\_\_\_\_ んー。

シヲリ \_\_\_\_\_  
上のウキ \_\_\_\_\_  
上 \_\_\_\_\_  
ウカシ \_\_\_\_\_  
中 こかげになみいて いー ざいざ はなを な \_\_\_\_\_  
下 \_\_\_\_\_ い あ がめーんー。

花咲かば  
告げんと言ひし山里の  
告げんと言ひし山里の  
使は来たり馬に鞍  
鞍馬の山の雲珠桜  
手折 枝折をしるべにて  
奥も迷はじ咲きつゝへ  
木蔭に並み居て  
いざいざ花をながめん

「花が咲いたらお知らせしよう」と  
言っていた、西谷の山里の友から使  
いが来た。ならば馬に鞍を付けて、  
鞍馬山に出かけよう。

雲珠桜を手で折って道標にすれば、  
山奥に入っても迷う事はないでしょ  
う。その山奥までずっと咲き続いて  
いる桜の木陰の下に並んで、さあ、  
皆で満開の桜を眺めよう。

ワークショップ実施形態  
及び内容

1、メインプログラム仮番組

### 能「鞍馬天狗」

前シテ(山伏)	金剛龍謹
後シテ(大天狗)	◎種田道一
ツレ(牛若丸)	向井弘記
子方(花見の稚児)	児童・生徒
ワキ(東谷の僧)	◎江崎欽次朗
間狂言(西谷の能力)	◎茂山千五郎

囃子 (笛)	◎杉 市和
〃 (小鼓)	◎曾和鼓堂
〃 (大鼓)	◎谷口正壽
〃 (太鼓)	◎前川光長

後見	◎廣田幸稔
〃	◎今井克紀

地謡	◎豊嶋晃嗣
〃	宇高竜成
〃	宇高德成
〃	田中敏文
〃	山田伊純
〃	惣明貞助

働き	湯川 稜
----	------

### 狂言「柿山伏」

狂言シテ	◎茂山 茂
狂言アド	◎丸石やすし
狂言後見	◎茂山千五郎

(◎は国定重要無形文化財総合指定保持者、日本能楽会会員)

## 2、主なメインプログラム出演者のプロフィール

## ●金剛龍謹(こんごう たつり) シテ方金剛流

## ■略歴

1988年、二十六世宗家金剛永謹の長男として京都に生まれる。幼少より、父・金剛永謹、祖父・二世金剛巖に師事。5歳で仕舞「猩々」にて初舞台。10歳で半能「岩船」にて初シテ。自らの芸の研鑽を第一に舞台を勤めながら、大学での講義や部活動の指導や、各地の学校での巡回公演など学生への普及活動にも取り組む。2012年に発足した自身の演能会「龍門之会」をはじめとして、京都・東京を中心に全国の数多くの公演に出演。同志社大学文学部卒業。京都市立芸術大学非常勤講師。

公益財団法人 金剛能楽堂財団理事。

一般社団法人 金剛会理事。

## ■主な演能

○金剛龍謹能の会 龍門之会

○宝生和英×金剛龍謹 合同演能会

○海外公演

2010年 スペイン・ポルトガル公演

2015年 「樂一茶碗の中の宇宙展」開催記念ロシア公演「羽衣 盤渉」

2017年 日本バチカン国交樹立75周年記念バチカン勸進能「羽衣 盤渉」

○新作・復曲

2017年 新作能「面影」(フランスの詩人ポール・クローデル「女と影」原作)

京都・パリ友情盟約締結60周年記念 プレ事業

2018年 新作能「沖宮」

女流作家・石牟礼道子の原作『沖宮』、染色作家・志村ふくみの装束制作による、3都市での新作能公演の主演・作曲。2021年6月に再演。

○教育関係

2014年 京都市立芸術大学芸術資源研究センター開設記念事業

「舞と謡の過去・現在・未来 —記譜法と身体伝承—」

2016年 スタンフォード大学・立命館アート・リサーチセンター共同研究プロジェクト

「能楽を言語・音楽・視覚的要素の統一体として分析する」

ウェブサイト『Noh as Intermedia』<http://noh.stanford.edu/> (2020年5月公開)

○オリンピック関連

2020年 東京2020オリンピック・パラリンピック能楽祭において能「道成寺」。2021年8月にも上演。

■金沢能楽美術館 現代能面美術展の審査委員

■茶道裏千家 月間茶道誌『淡交』にて「茶人の嗜み 能を学ぶ」連載

## ●廣田幸稔(ひろた ゆきとし) シテ方金剛流

1957年、京都市生まれ。父・廣田陞一、25世宗家金剛巖に師事。

同志社大学法学部卒業。

1988年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

1999年、京都市芸術新人賞。2005年、文化庁芸術祭新人賞。

(公社)能楽協会本部理事・京都支部副理事長。

2020年、京都府文化賞功労賞。

(一社)金剛会理事。

## ●江崎欽次朗(えざき きんじろう) ワキ方福王流

1973年、兵庫県姫路市生まれ。本名は敬三。

祖父・10世江崎治郎、父・11世江崎治郎、16世福王茂十郎に師事。

2014年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

(公社)能楽協会神戸支部常議員。

2019年兵庫県芸術奨励賞。2020年姫路市芸術文化賞。

●**茂山千五郎家(しげやま せんごろうけ) 狂言方大蔵流**

江戸時代から京都で活躍した狂言の家。江戸時代後期に9世茂山千五郎正虎(初世千作)が登場して以降は大蔵流の名門として名を馳せた。

11世千五郎真一は1976年、その子の12世千五郎七五三は1989年、それぞれ人間国宝に認定された。現在の当主は14世千五郎正邦。

●**種田道一(たねだ みちかず) シテ方金剛流**

1954年、京都市生まれ。

立命館大学産業社会学部卒業。

1993年、京都市芸術新人賞。

1988年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

(公社)能楽協会本部理事。(一社)金剛会代表理事。

●**豊嶋晃嗣(てしま こうじ) シテ方金剛流**

1973年、広島市生まれ。祖父・豊嶋豊、叔父・豊嶋彌左衛門、25世宗家・金剛巖に師事。

慶應義塾大学環境情報学部卒業。

2000年、北九州市民文化奨励賞。

2014年、重要無形文化財総合指定保持者認定。

2017年、京都市芸術新人賞。2018年、京都府文化賞奨励賞。

(公社)能楽協会京都支部常議員。



みんな  
体験・共感  
してみよう  
能・狂言

ともだち いっしょ くらま てんぐ せかい たの  
お友達と一緒に「鞍馬天狗」の世界を楽しみましょう！



のう くらまてんぐ  
能「鞍馬天狗」

ぶんか げいじゆつ こども いくせい そうごう じぎょう じゆんかい こうえん じぎょう  
文化芸術による子供育成総合事業 - 巡回公演事業 -

わ くに いちりゆう ぶんか げいじゆつ だんたい しょうがっこう ちゅうがっこう など  
我が国の一流の文化芸術団体が、小学校・中学校等に  
いて公演し、子供たちが優れた舞台芸術を鑑賞する機会を  
え 得ることにより、子供たちの発想力やコミュニケーション  
のうりよく いくせい しょうらい げいじゆつか いくせい こくみん げいじゆつかんしょうのうりよく  
能力の育成、将来の芸術家の育成や国民の芸術鑑賞能力  
の向上につなげることを目的としています。

じぜん こども じつえんしどう また かんしょう  
事前のワークショップでは、子供たちに実演指導又は鑑賞  
しどう おこな じつえん こども  
指導を行います。また、実演では、できるだけ子供たちも  
さんか 参加してもらいます。



きょうげん かきやまふし  
狂言「柿山伏」

日本にほんの伝統芸能でんとうげいのうである「能楽のうがく」を体験たいけんし、観みましよう。

プログラム

能のお稽古は必ず、  
あいさつから始まり、  
あいさつで終わるのじゃ



事前ワークショップ

本公演当日

① 始まりのあいさつ

② 「能・狂言」とは？

実際の舞台の様子を見学

③ 絵本読み聞かせ「鞍馬天狗」

「鞍馬天狗」ってどんなお話？  
絵本を能楽師が読み聞かせ

④ 謡を全員で体験してみよう

オリジナル謡本を使い、  
能楽師が丁寧に実演指導

⑤ 能面をつけてみよう

休憩(10分)

⑥ 「能・狂言」の舞や

所作を全員で体験してみよう

⑦ 能「鞍馬天狗」を演じてみよう

⑧ 質疑応答

⑨ 終わりのあいさつ

① 始まりのあいさつ

② 「能楽」のお話

③ 狂言「柿山伏」の上演

④ 狂言「柿山伏」について

鑑賞した狂言「柿山伏」の  
特徴的な所作などを解説し、  
全員で体験

⑤ 能「鞍馬天狗」に参加しよう！

〜稽古・リハーサル〜

ワークショップで習得した  
稚児役と地謡役の最終稽古と  
リハーサル

休憩(10分)

⑥ 能「鞍馬天狗」の鑑賞にあたって

⑦ 能「鞍馬天狗」の上演(字幕付き)

⑧ 能楽師との交流の時間

〜感想と質問〜

みんなの疑問や質問に、  
能楽師が直接回答

⑨ 終わりのあいさつ

『能楽』は、650年以上もの間、親から子へ、子から孫へと  
伝えられてきた、世界で一番古い演劇とも言われます。  
いろいろなお話を、舞、謡、囃子で演じます。『能楽』には、真面目  
な話である「能」と、可笑しな話である「狂言」があります。

同じ様に  
見えて実は  
まったく違う  
ものなのじゃ



能「鞍馬天狗」  
狂言「柿山伏」

どちらの話も  
皆にとって大切  
なことを教えて  
くれるぞ



能「鞍馬天狗」は、源義経が牛若丸といわれていた時のお話です。  
天狗と友達になった牛若丸は、戦い方の秘密を教えてくださいまし  
た。牛若丸の優しい気持ちが、天狗に伝わったのです。

狂言「柿山伏」は、柿を盗み食いしようとした山伏が、ごまかそう  
とするけれどごまかしきれないお話です。

能「鞍馬天狗」と狂言「柿山伏」は、正直に  
真面目に努力すること、そして人を差別して  
はいけないことの大切さを教えています。



より楽しく観るために、皆さん全員で謡やセリフを少しだけ  
練習します。また何人かの人には、舞台上がって能に  
出演してもらいます。皆さんの良く知っているお友達が  
出演することで、能楽をより身近に感じていただきたいと  
おもいます。

皆も能・狂言を  
好きになると  
いいのう！



【令和4年度文化芸術による子供育成総合事業－巡回公演事業－実施条件等確認書①】

ID	I120	分野	伝統芸能	種目	歌舞伎・能楽	ブロック	I	区分	A区分
公演団体名	一般社団法人 金剛会				制作団体名	一般社団法人 金剛会			

① 会場条件等についての確認

項目	必要条件等							応相談	
控室について	必要数*	1室	条件	27名程度で昼食がとれる広さを希望 体育館に近い部屋を希望				可	
搬入について	来校する車両の大きさと台数*			2tトラック	1台	大型バス	1台	不可	
	上記車両について「応相談可」の場合、内容詳細			大型バスが横付けできない場合は周辺で乗降します。				/	
	来校する車両の内、横づけが必要な車両の大きさ			2t車アルミ＝車長6.5M/車幅2.2M/車高3.2M					可
	搬入車両の横づけの要否*			要				可	
	横づけができない場合の搬入可能距離*			10m以内				可	
	搬入経路の最低条件			できるだけフラットで屋根がある経路が望ましいが、階段がある場合、屋根がない場合も状況によっては相談可能。				可	
	理由			貴重なもの長尺のもの重量物があるため				/	
	設置階の制限*			問わない					可
	搬入間口について 単位:メートル		幅	2M	高さ	2M		可	
	WSIについて	参加可能人数		1,000名まで				可	
学年の指定の有無*		なし	指定学年*	低学年	中学生		可		
所要時間の目安 単位:分		100分(休憩10分込)				可			
本公演について	会場設営・本公演・メインプログラムの所要時間			※「出演希望調書」内「会場設営の所要時間(タイムスケジュール)」の目安を御参照ください。				/	
	鑑賞可能人数			1,000名					可
	舞台設置場所*			フロア				可	
	舞台設置に必要な広さ 単位:メートル	幅	17M	奥行	13M	高さ	3M	可	
	体育館の舞台を使用する場合の条件	舞台袖スペースの確保*			要				可
		舞台袖スペースの条件*			上記の舞台必要寸法の確保				可
		緞帳*	不要		バトン*	不要		可	
	遮光(暗幕等)の要否*			不要	理由			可	
	ピアノの調律・移動の要否 (調律費・移動費は経費対象外です)	指定位置へのピアノの移動*		不要	※指定位置は会場設置図面にて御確認ください。			可	
		ピアノの事前調律*		不要				不可	
	フロアを使用する場合の条件	バスケットゴールの設置状況*		格納されていれば可				可	
	公演に必要な電源容量			不要	※主幹電源の必要容量			可	
	その他特記事項							応相談	
能舞台は舞台の一部についてサイズが決まっていますが、それ以外の部分では会場の状況に応じることができます。(図面:前方の飛び出している部分のサイズは固定)							可		

会場図面(表記単位:メートル)

搬入間口について	幅	2M	高さ	2M
搬入車両の横づけの可否		要		
横づけができない場合の搬入可能距離		10m以内		

※搬入に関する条件の詳細については、図面上の表にて御確認ください。

